

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-194636

(43)Date of publication of application : 14.07.2000

(51)Int.Cl.

G06F 13/00
G06F 3/00
G06F 17/60
// G06F 17/30

(21)Application number : 10-378232

(71)Applicant : C & C COMMUN:KK

(22)Date of filing : 24.12.1998

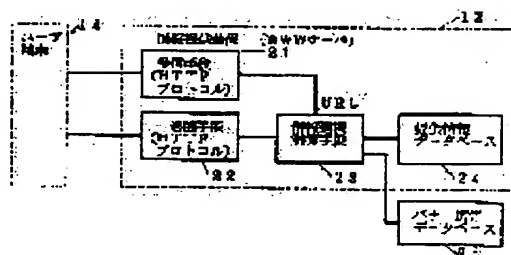
(72)Inventor : TANAKA KIYOTAKA
TANAKA HIROTAKE

(54) METHOD FOR PROVIDING INFORMATION OVER INTERNET AND PROGRAM RECORDING MEDIUM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an Internet advertisement medium which has high advertisement effect by determining whether information can be provided according to the icon operation result of a user.

SOLUTION: A receiving means 21 interprets and receives an access request accessed from a user terminal as a uniform resource locator(URL) which is WWW common architecture. A provided information data base 24 stores provided contents as a hypertext mark-up language(HTML) file. An information selection control means 23 receives the URL and controls the selection of the provided contents to be sent out to the user terminal. Namely, when the click operation URL of a banner advertisement is received, its operation data is temporarily stored and when an access URL for the provided contents is received next, the temporarily stored operation data is decided; when they can be provided, the corresponding page file is acquired from the provided information data base. Then a transmitting means 22 sends the page file to the request source user terminal.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-194636

(P2000-194636A)

(43)公開日 平成12年7月14日(2000.7.14)

(51)IntCl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)	
G 0 6 F 13/00	3 5 4	G 0 6 F 13/00	3 5 4 D	5 B 0 4 9
3/00	6 5 7	3/00	6 5 7 A	5 B 0 7 5
17/60		15/21	Z	5 B 0 8 9
// G 0 6 F 17/30		15/40	3 7 0 Z	5 E 5 0 1
		15/403	3 2 0 A	

審査請求 未請求 請求項の数3 書面 (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平10-378232

(22)出願日 平成10年12月24日(1998. 12. 24)

(71)出願人 597088513

株式会社シーアンドシーコミュニケーションズ

東京都中央区勝どき2丁目12番10号

(72)発明者 田中 清隆

東京都中央区勝どき2丁目12番10号株式会社シーアンドシーコミュニケーションズ内

(72)発明者 田中 寛隆

東京都中央区勝どき2丁目12番10号 株式会社シーアンドシーコミュニケーションズ内

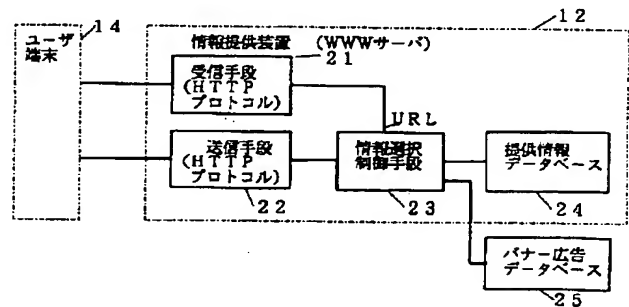
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 インターネット上の情報提供方法およびプログラム記録媒体

(57)【要約】

【課題】 インターネットを介して利用される、バナー広告付き情報提供システムでサイト訪問者のバナークリック率を向上させる情報提供方法の提供。

【解決手段】 バナー広告をクリックしないとサービスや情報の提供が受けられない情報提供方法を創出する。また、従来のWWWサーバから簡単に移植可能なプログラムを提供する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットを介して利用され、広告主ホームページへのエントリー手段を有すアイコンを広告情報として付加する情報提供方法において、利用者の前記アイコン操作結果に基づいて情報提供の可否を決定することを特徴とする情報提供方法。

【請求項2】 前記情報提供の可否決定は、利用者の前記アイコン操作検知時 規定ポイントを加算し、利用者の情報提供利用時間で該ポイントを減算し、ポイント有効時のみ情報提供を許可する度数管理方式とすることを特徴とした請求項1記載の情報提供方法。

【請求項3】 インターネットを介して接続され、広告主ホームページへのエントリー手段を有すアイコンを広告情報として付加する情報提供装置上で実行されるプログラム記録媒体において、ユーザー端末から受信したアクセス信号を判別するアクセス種別判別過程と、前記アイコン操作を検知して一時記憶する操作データ記憶過程と、該記憶された操作データに基づいて情報提供の可否を決定する情報提供開示判定過程とを実行するプログラム記録媒体。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 この発明は、インターネット（広域コンピュータ網）を介した情報やサービス（以後統一して情報と呼ぶ）の提供方法に関し、特に提供情報に広告主ホームページへのエントリー手段を有すアイコン（一般にバナー広告と称する）を広告情報として付加する情報提供方法、そのためのプログラム記録媒体に関する。

【従来の技術】

【0002】 インターネットは、ワールドワイドなコンピュータネットワークとして近年急速に普及しており広告媒体として注目されている。このインターネットを利用した広告は、情報提供者のホームページの任意の位置にバナー広告を張り付けることで一般に行われている。ここでいうバナー広告とは、広告主ホームページへのエントリーアドレスと企業名や簡単な商品コピーをイメージ化した情報で構成されたアイコンである。利用者は、このバナー広告をクリック操作して広告主ホームページにエントリーし詳細な広告情報を知る形態である。

【発明が解決しようとする課題】

【0003】 バナー広告に記載できる情報量は、その大きさの制約により限られる。一方、サイトを訪れた利用者がバナー広告をクリックして広告主のホームページを閲覧する割合は、1%以下という極めて低い率である。ホームページをより効果的な広告媒体とするためには、このバナー広告クリック率を高める工夫が必要であった。そこで本発明は、利用者に情報提供サービスを受ける対価として強制的に広告主のホームページを見てもらう情報提供方法及び そのためのプログラム記録媒体を

提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0004】 この発明は、インターネットを介して利用され 広告主ホームページのエントリー手段を有すアイコンを広告情報として付加した情報提供方法において、利用者の前記アイコン操作結果に基づいて情報提供の可否を決定することを特徴する。

【0005】 前記情報提供の可否決定は、利用者の前記アイコン操作検出時 規定ポイントを加算し、利用者の情報提供利用時間で該ポイントを減算し、ポイントが有効（整数値）の時のみ情報提供を許可する度数管理方式としてもよい。

【発明の実施の形態】

【0006】 図1に本発明を適用したシステム構成の例を示し説明する。情報提供装置（WWWサーバ）12及び広告主ホームページが格納されたWWWサーバ13は、ルータを介しインターネット11に接続される。ユーザー（サービス利用者）は、WWWブラウザが動作するユーザー端末14をインターネット11に接続後、情報提供装置12にアクセスして情報提供を受ける。

【0007】 次に、機能ブロック図2を使用して本発明の実施形態を説明する。受信手段21は、ユーザー端末からアクセスされたアクセス要求をWWW共通アーキテクチャであるURL（Uniform Resource Locator）として解釈受信する。提供情報データベース24は、提供コンテンツ（情報の内容）をHTML（HyperText Markup Language）ファイルとして格納する。情報選択制御手段23は、前記URLを受けユーザー端末に送出する提供コンテンツを選択制御する。すなわち、バナー広告のクリック操作URLを受けると該操作データを一時記憶し、次に提供コンテンツへのアクセスURLを受けると前記一時記憶された操作データを判定して提供可能であれば前記提供情報データベースから該当するページファイルを取得する。送信手段22は、前記取得したページファイルを要求元ユーザー端末に送信する。

【0008】 バナー広告情報は、前記提供コンテンツに動的に変更取り付けてもよい。これにより同一ユーザーが短時間に同一サイトを訪れた場合、バナー広告を変更することにより効果的な広告提供が可能となる。この場合、バナー広告情報は図2の25に示すように情報提供装置外の独立した既存の広告配信サーバから取得してもよい。

【0009】 本発明のプログラム記憶媒体は、図2に示す情報提供装置内の情報選択制御手段23に関する動作を実行する。その特徴は、WWWサーバに容易に移植できるプリプログラム構成にある。

【0010】 図3を使用して本発明の実施例の動作手順を説明する。アクセス種別判定部31は、利用者のアクセス要求をURLで判別検知する。まず、トップページ

アクセスを検知すると該ファイルを送出する。図5にユーザー端末でトップページを受信後表示される該ファイルの表示例を示す。次に、バナー広告のクリック操作を検知すると該バナー広告に対応するコードを操作データとして一時記憶した後広告主ホームページへ強制分岐（リダイレクション）させるURLを送出する。この状態から、次に情報（提供コンテンツ）エントリーURLを検知すると前記記憶中の操作データを判定して情報開示許可と見なし（前回、対応するバナー広告がクリックされている）提供情報のページファイルを送出する。一方、バナー広告のクリック前に前記情報エントリーURLを検知すると、不許可メッセージを含むページファイルを送出してユーザーにバナー広告クリック操作を促す。

【0011】この実施例では、ホームページ上の複数の提供コンテンツと複数のバナー広告を関連付けて管理可能とするため、操作コードは該バナー広告に対応した正数値とした。また、この実施例では一回のクリックで一度のみ開示許可する画像等のコンテンツ提供を想定している。一方、コミュニケーションサイトのように利用時間が重要な要素となるコンテンツ提供においては、前記操作データにクリック操作時の時刻を加味してもよい。この手法によれば、情報開示可否判定において現在時刻との比較ができ、規定時間の範囲で情報開示可否の決定が可能となる。

【0012】以上説明した動作手順のコード記述参考例を図6に示す。この参考例において、使用言語はCGI（Common Gateway Interface）の一種であるASP（Active Server

Pages）とした。また操作コードの一時記憶場所は、移植性を考慮してユーザ端末側のWWWブラウザが有すクッキー（情報保存ファイル）とした。

【発明の効果】

【0013】以上説明したように本発明によれば、情報提供の対価として広告主ホームページを閲覧する仕組みのため広告主にとって広告効果の高いインターネット広告媒体の提供が可能となる。一方、サイト運営事業者は安定した広告収入が期待できより付加価値の高い情報を利用者に無料で提供できるようになる効果も期待できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明が適用されるシステム構成図である。

【図2】本発明の動作概念を示す機能ブロック図である。

【図3】本発明の一実施例である機能処理フロー図である。

【図4】本発明の請求項2に係わる一実施例である機能処理フロー図である。

【図5】本発明の一実施例である画面表示とページの関係を表す図である。

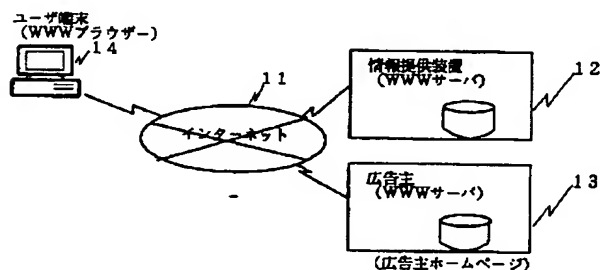
【図6】本発明の一実施例であるプログラムの記述サンプル図である。

【符号の説明】

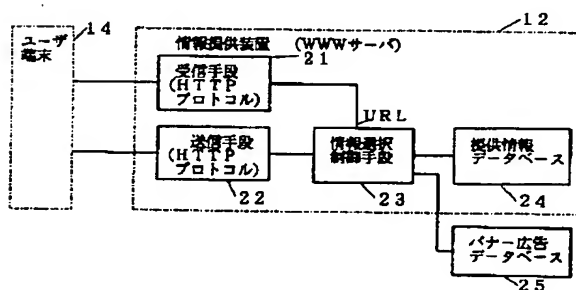
11・・・インターネット（広域コンピュータ網）

12・・・情報提供装置、13・・・広告主のホームページが動作するWWWサーバ、14・・・WWWブラウザが動作するユーザ端末

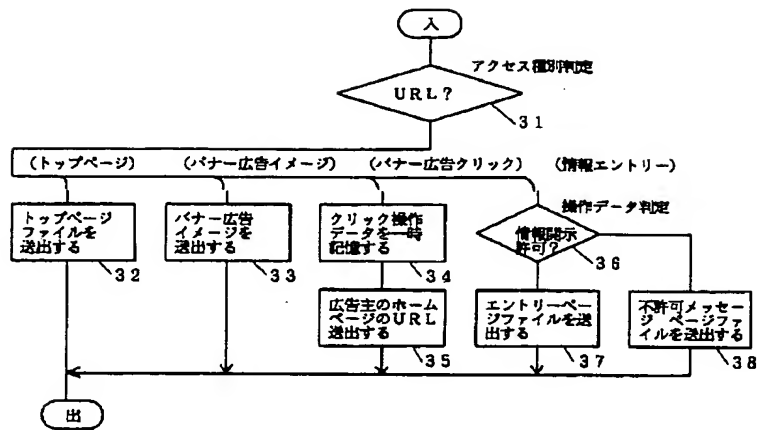
【図1】



【図2】

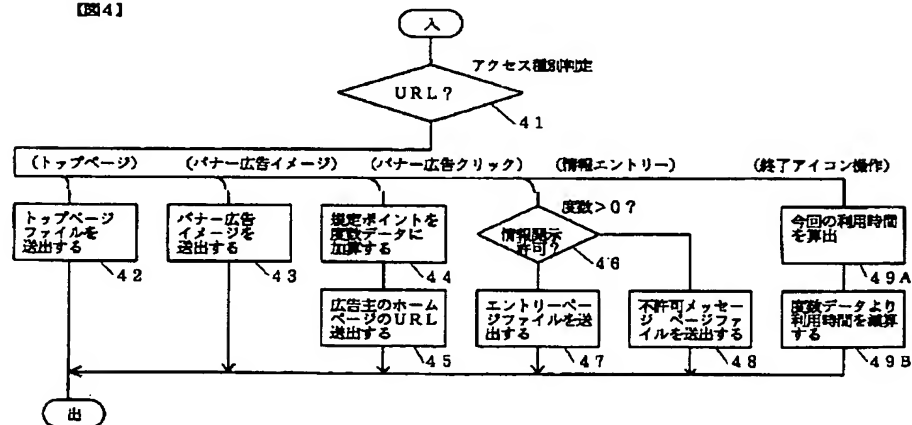


【図3】

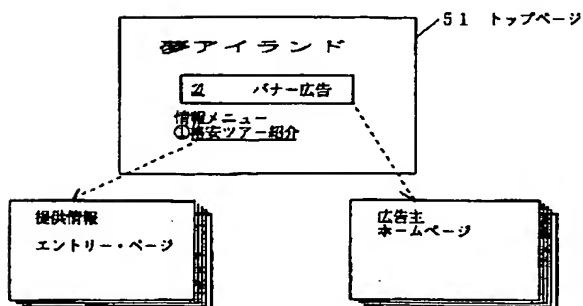


【図4】

【図4】



【図5】



【図6】

【A】 トップページのコード記述例

```

<HTML>
.....
<B>夢アイランド</B><P>
<A href="click.asp?kind=001">
<IMG src="image.gif">
</A><p>
情報メニュー<p>
<A href="enter.asp?kind=001">
格安ツワ-紹介</A>
.....
</HTML>

```

【B】 バナー広告（アイコン）クリック操作時のコード記述例（click.asp）

```

<%
kind=Request.QueryString("kind")
Response.Cookies("clickName")(kind)=1
Response.Redirect("http://。。。") (広告主URLへ)
%>

```

【C】 提供情報エントリー時のコード記述例（enter.asp）

```

<%
kind=Request.QueryString("kind")
stat=Request.Cookies("ClickName")(kind)
If stat=1 Then


提供情報 エントリーページのコード


Else


不許可メッセージのコード


End If
%>

```

フロントページの続き

Fターム(参考) 5B049 AA00 BB49 DD01 EE05 EE28
FF03 GG02 GG04 GG07
5B075 KK07 KK13 KK33 KK38 KK50
KK54 KK63 ND02 ND06 NK10
PP03 PP13 PP30 PQ02 UU40
5B089 GA11 GA21 GB03 GB04 HA10
HB05 JA22 JB02 KA00 LB19
5E501 AA01 AB15 AC06 AC33 BA14
CA02 CC17 DA02 EA05 EA11
FA04 FA41